

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 3年 1月 13日

協議会名: 長野市公共交通活性化・再生協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
長野市	中条線 中条支所～中条地区～中条支所	前回実施した運行変更の定着状況を事業者へヒアリングをした。支所、地区役員等と地区人口の減少が利用者の減少に影響している状況を共有するとともに、現在の利用状況を説明し、案内チラシ配布による利用促進の依頼をした。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	C	令和4年度まで2,800人以上確保する目標に対し、令和2年度実績は1,994人であった。 利用者の多くを占める年少人口、高齢者人口ともに、減少に歯止めがかからなくなってきていることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響によりさらに利用者が減少している。車内換気や消毒などのコロナ対策を実施し、安心して利用してもらえるよう周知を図るとともに、見直し基準に基づき、沿線の利用状況や収支率を踏まえたうえで、適切なルート及び運行時間を検討する。
アルピコタクシー株式会社	篠ノ井共和線 川中島駅～Aコープ・篠ノ井店～篠ノ井病院前	支所、地区役員等に利用状況等を説明し、地域に利用促進の呼び掛けを依頼した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A	令和4年度まで1,400人以上確保する目標に対し、令和2年度実績は1,683人であった。 本年度は利用者が若干増加した。今後も維持できるよう利用状況を注視しながら、引き続き地域や事業者と連携を図っていく。
アルピコタクシー株式会社	安茂里線 安茂里駅～安茂里支所～バスターミナル	支所、地区役員等に利用状況等を説明し、地域に利用促進の呼び掛けを依頼した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A	令和4年度まで3,200人以上確保する目標に対し、令和2年度実績は3,761人であった。 本年度は利用者が若干増加した。今後も維持できるよう利用状況を注視しながら、引き続き地域や事業者と連携を図っていく。